毎月1回の“知ってるだけで対策がとれる”セキュリティ情報

3 サンエイ すてーしょん

SUN-A OFFICE CLINIC

お客様各位

（社内への周知・回覧をお願いします）

※以前名刺交換をさせて頂きましたお客様に情報提供をさせて頂いております。

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。平素は格別のご高配を賜り誠にありがとうございます。

今回は「セキュリティ対策における社内ルールの必要性」第3弾として、**「定期的な社内研修の重要性について」**のFAXを送らせて頂きました。

ウイルスや外部からのサイバー攻撃は日々進化し、新しい攻撃パターンもたくさん出てきています。最近では「LINEを騙るフィッシングメール」が話題になっています。LINEからの公式メールを装って、二段階認証のパスワードを求める内容となっており、アカウントのパスワードを盗むことが目的と思われます。

こうした最新情報を担当者だけの知識としておくと、会社としての予防対策にはなりません。いかに早く社内外の情報を集め、対応していくかがとても大切です。今回はそうした社内の体制づくりの大切さとルール作りの方法についてご案内します。

新しいサイバー攻撃の情報を共有しよう

～社内情報共有方法と日ごろの訓練について～

①定期的な社内勉強会の実施

毎週行われる「朝礼」や「会議」のうち5～10分で、最新のサイバー攻撃についての情報共有を行いましょう。「掲示板」や「グループウェア」を導入されているお客様においては、弊社のFAXDMや実際に届いた標的型メールなどを掲示・情報発信をするのもよいでしょう。これにより、少しずつですが従業員様の意識改革にもつながり、会社としてのルール化もできます。

②新しい脅威に対しての情報収集と共有について

日々届く「標的型メール」や「PCの不具合」についての担当窓口の一本化はできておりますか？ 経営者様や担当者様の知らないところですでに小さなインシデントや脅威が生まれている可能性があります。PC・ネットワークに不具合が起きた際の「担当窓口」の周知徹底は必ず行ってください。

また、届いた情報をリアルタイムで情報共有することも大切です。グループウェア・メール・ショートメールなどで一斉に情報配信ができる仕組みを構築しましょう。一人に届いた脅威はすぐに他の社員にも拡がっていくため、早く対処できればリスク回避できます。

弊社では2月15日からライブオフィスツアーを開催しております。弊社内での運用ルールや使用ツールもご紹介いたしますので、ご興味がございましたらぜひ弊社ホームページからお申込みください（予約制）。

敬具

社内回覧確認枠

発行：株式会社サンエイ
電話：084-922-6190
FAX：0120-22-6190

□ 今後情報提供が**不要**な場合はチェックを頂きご返信ください。

御社名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿